

校長室だより



真岡東中 校長室だより

No. 41

2018/04/13/Fri

水産デー 喫茶店の日

宮本武蔵・佐々木小次郎、巖流島の決闘1612年

測量家、伊能忠敬、74歳で没 1818年

日本初のコーヒー店が開業 1888年

天才歌人、石川啄木、27歳で没 1898年

チーム東…生徒・家庭・教職員へ向けての校長通信

高め合い、磨き合い、感動し合い、「愛」いっぱいの真岡東中に！

真岡東中学校HPでもご覧いただくことができます

新学期スタートの週に感じた生徒たちの「心意気」

行事が続いた5日間がアッという間に…

新たな学級での本格的な授業も活発に始動！



今週は多忙な5日間…毎日のように行事がありました。生徒会主催の「部活動紹介」では楽しいパフォーマンスを披露してくれ、生徒も教師も楽しい時間を共有できました。1年生も中学校生活への不安が少し解消されたのではないのでしょうか？

4/9(月)の始業式は入学式前のため、1年生は参加していません。そこでの2・3年生代表の決意発表は、「心意気」にあふれるもので、

1年生にとっても参考になる内容でした。その内容を抜粋、要約して紹介します。

2年生になって (始業式) …◇鈴木 大空さん(2年生代表)

2年生になるにあたって三つの目標を立てた。

一つめは、学習面で苦手教科をなくすこと。昨年、家庭学習では得意教科に多くの時間をかけて取り組んだが、テストでは思うような結果が出なかった。これからは苦手教科にも時間を有効に使い、より効率よく勉強し、意欲的に学習に取り組んでいきたい。

二つめは、部活動で自分が納得する結果を残すこと。昨年、陸上大会で思うような記録を残せなかった。もうすぐ春季陸上大会。今まで磨いてきた技術を、いろいろな大会で発揮できるように練習に取り組んでいきたい。

三つめは、先輩としての自覚をもって充実した毎日を送ること。2年生は1年生の手本にならなければいけない。そのために、自分の生活を見直して節度ある行動を心がけていきたい。以上の目標を達成できるよう毎日が輝けるものとなるよう努力していきたい。



1学期の抱負 (始業式) ◇山崎 惇平さん(3年生代表)

これまでの2年間は、多くの友達とたくさんの思い出ができ、あっという間だった気がする。1学期には、行事の中で最も楽しみにしている修学旅行があり、一生の良い思い出にするために、みんなと協力して計画を立て、最高のものにしたい。部活動では、新人大会の後、目標を見失いがちだった。練習にあまり気合いが入らず、ただ時間を過ごしているだけのことがあった。今年は最後の夏の大会を目標にして、練習に全力で取り組み、悔いの残らないように頑張っていきたい。また、下級生に優しくアドバイスするなど、良い関係を築いて、更に良いチームにしたい。勉強面では、昨年、いわゆる「中だるみ」になってしまった。その反省を踏まえ、気持ちを切り替えて、受験生としての自覚をもって勉強に取り組んでいきたい。1学期は部活動が最も忙しくなるので、時間の使い方を工夫して過ごしていきたい。一日一日を大切に、1・2年生の手本になれるよう頑張っていきたい。



1年生と生徒会長の「心意気」を感じた！



入学式の呼名の際の緊張感の中でもはっきりとした返事、登下校時の爽やかなあいさつ、そして11日(水)の「学級委員任命式」での元気な返事…この5日間で1年生の「心意気」を、さらに入学式での生徒会長の言葉に「心意気」を感じ取ることができました。

その生徒会長の「歓迎の言葉」と、私の「式辞」の要旨を紹介いたします。

入学式…歓迎の言葉 (要旨) ◇中島 知樹さん(生徒会長)

新しい生活への期待や不安…勉強、部活動、新しい友達のことなどがあると思う。自分のペースで少しずつ学校生活に慣れ、楽しく過ごせるよう私たちも心を配りたいと思う。

学習では教科ごとに先生が変わり、内容も難しくなる。授業を大切にし、自主的な学習に心がけてほしい。

部活動は、結果も大事だが、それ以上に結果にたどりつくまでの過程が大切。仲間との友情や礼儀、精神力を養う場でもある。楽しいことも辛いこともあるが、仲間と一つの目標に向かって励んでいこう。

6月の宿泊学習では、新しい仲間と友情を深め楽しく過ごしてほしい。9月の運動会では、学級で心をつなげて団結することの大切さと喜びを学んでほしい。10月のひがし野祭では、心が一つになる合唱コンクールで絆をより一層深めてほしい。学級展示、モザイクアート等、素晴らしいものにしよう。他に、ガダードミドルスクールとの国際交流などの行事で、皆さんの新しい力、アイディアを生かしてすばらしくしていこう。

中学校生活三年間は長いようでいて、あっという間に過ぎてしまう。「今」を大切にして、何事にも積極的に挑戦し、何事にも「全力」で取り組んでほしい。悔いが残らないように勉強や部活動、生徒会活動に打ち込んでほしい。今日から皆さんは私たちの仲間。真岡東中の歴史に深く刻まれる思い出を一緒に作りたい。私たちとともに頑張ろう。



入学式…校長式辞 (要旨)

君たちの入学を心待ちし、在校生は多くの祝福メッセージを飾り、対面式の準備をしてきた。これが本校の心意気で、本校の活動のキーワードの一つ。

本校の教育目標①＝「真理(まこと)を求める生徒」＝真理・真実をより深く探求し、よりよい人間を目指してよく考え進んで学ぶ生徒。社会で困難な問題にも立ち向かい、自分の未来を切り拓き創造していく力＝生きる力が求められる。その土台を学校で身に付け、生涯学び続けてほしい。

②＝「情操(こころ)を深める生徒」＝礼儀が正しくて思いやりの心をもった生徒。思いやりとは自分の思いを相手にやる、伝えるということ。かけがえのない自分と同時に相手のことも大切してほしい。すると学校は楽しくなる。本校の行事は、生徒が中心で全校生が一体となって創り上げている。時にはぶつかりながらも、共に泣き笑い、支え合うことで、信頼し合える友人関係を築ける。心の故郷と思える学校になるよう、心を深めてほしい。

③＝「身体(からだ)を鍛える生徒」＝体力、気力の充実した心身共に健康で、たくましい生徒。健康が土台で、体の健康が心の健康のもとになる。朝食をしっかりとってから登校、交通事故に気を付け命を大切にする、積極的に部活動に取り組む…それらが高校受験や困難を克服するための忍耐力にもなる。

教育目標達成に向け、先輩と一緒に楽しい学校生活を送るとともに、一所懸命に挑戦する強い心と心意気をもって、中学校で「感動」を共有してほしい。